

スタートアップを起爆剤に、持続的にイノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムの形成を目指します

予算額 1, 943, 889千円

「Aichi-Startup 戦略」(2025年3月改定)の根幹をなす「STATION Ai プロジェクト」に基づき、スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させるエコシステム形成の取組を一層強化します。

STATION Ai 管理運営事業費

536, 381千円

○PFI 手法による「STATION Ai」の運営

- ・PFI 手法の「BT コンセッション方式」により、民間のノウハウを最大限活用した管理運営を実施

〔PFI 事業者：STATION Ai 株式会社（ソフトバンク株式会社の100%子会社）
運営及び維持管理期間：2024年10月1日から2034年9月30日まで〕

○「SusHi Tech Tokyo2026」への出展

海外スタートアップ支援機関連携推進事業費

765, 321千円

○本県のエコシステムを世界に発信する「TechGALA Japan」の開催

- ・グローバル拠点都市コンソーシアムの主要メンバーと連携し、国内外のスタートアップ・事業会社・投資家等が一堂に会するグローバルイベントを開催

○海外スタートアップと県内事業会社とのオープンイノベーションを促進するマッチングプログラムの開催

○8か国20の海外スタートアップ支援機関・大学等との連携によるグローバルコミュニティの形成

- ・アメリカ（テキサス大学オースティン校等）、シンガポール国立大学、フランス（STATION F等）、中国（清華大学等）、ドイツ（NRW州）、韓国（慶尚南道）、ポルトガル（ポルトガル経済省等）、スペイン（マドリード州）との連携事業の実施

あいち創業館管理運営事業費

34, 293千円

○「あいち創業館（Aichi Founders Museum）」の管理運営

- ・愛知県ゆかりの創業者・経営者の業績などを伝える施設の管理運営

スタートアップ支援事業費

545, 533千円

- ・県及び県内市町村によるスタートアップ製品等の公共調達の促進に向けたトライアル等の実施（新規）

- ・学生・社会人等の起業家の発掘、育成プログラムの開催
- ・ディープテックスタートアップへの総合的な支援
- ・小中高生を対象とした、各年代に応じた起業家育成プログラムの実施
- ・モノづくり中小・中堅企業の新事業創出をオープンイノベーションの手法等を活用し、専門家が一貫して支援
- ・起業支援金の支給・伴走支援
- ・起業を目指す者及び創業初期のスタートアップを対象にしたコンテストの開催
- ・女性起業家の創出等のダイバーシティを推進するプログラムの実施

STATION Ai パートナー拠点事業費

62, 361千円

○地域を支援する統括マネージャーの配置

- ・県内各地域での拠点設立の促進や連携支援する統括マネージャーを配置